

ケントウッド高校 生徒受け入れ ホストファミリー募集について

はじめに

アメリカ北西部ワシントン州のコビントン市にあるケントウッド高校と本校との出会いは1991年、柔道部顧問の篠原教諭が1990年 3 月 10日から3週間、ケントウッド高校で柔道の指導を行ったことから始まりました。その後、当時のジョージ・ウィルソン校長から講道館柔道の創始者、嘉納治五郎の書「自他共栄」（柔道場に掲げられています）が本校に寄贈され、更に柔道部OBの招待でウィルソン校長が来校された際に、両校の「交流」が合意されました。以後、相互に学校を訪問する形で交流が進められ、本年度22年目を迎えることとなりました。

年 度		1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005~2013
ケントウッドから 本校へ	教員	1名 (校長)	3名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	2名	1名	1名	1名
	生徒	なし	2名	1名	2名	2名	2名	4名	3名	4名	4名	4名	9名	4名	6名	4名
本校から ケントウッドへ	教員	2名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	なし	1名	1名	1名	2名
	生徒	なし	4名	2名	2名	4名	4名	4名	4名	4名	4名	なし	7名	5名	5名	5名

*2001年度は国際情勢等を考慮し、中止

ケントウッド高校の概要

シアトルから車でおおよそ40分ほどの距離にあるコビントン市の公立高校のひとつであるケントウッド高校では、約2,300名の生徒が学んでいます。地元の日系アメリカ人から「タコマ富士」として親しまれているレーニエ山の裾野に広がる平野部の小高い丘陵地にあり、非常に広々とした静かな環境の中で教育活動が行われています。ジョージ・ウィルソン元校長が柔道に強い関心を持っておられたため、放課後のクラブには柔道があり、また日本語熱も高く、語学の授業には「日本語コース」が設けられ、数多くの生徒が学んでいます。

ホストファミリー募集について

ケント地区の高校より昨年度は教員1名、生徒4名(男子2名、女子2名)が7月7日～14日の1週間本校に滞在し、共に学校生活を送り、交流を深めることができました。本年度も昨年度同様の人数を想定しておりましたが、ケントウッドの都合により、教員1名、生徒1名(女子1名)しか来校できなくなりました。来年度は昨年度と同人数の生徒が来ることができると伺っています。今年度はわずか1名という人数ですが、この機会に国際交流の輪をさらに広げることを目的として、以下の要領でホストファミリーの募集をいたします。

- ☐ホスト期間： 7月13日(日) ～ 7月20日(日)まで(帰国に際しては教員・ホストファミリーにより、関空まで見送り)
* 7月14日(月)・15日(火)・16日(水)・17日(木)・18日(金)の五日間北野高校に通います。7月19日(土)は各ホストファミリーと過ごすこととなります。13日(日)に阿武野高校のホストから引き継ぐ予定です。7日(月)～12日(土)までは阿武野高校のホストファミリーと過ごします。
☐経費負担： 昼食、学校への交通費は学校が負担
☐受入れ方： 彼らは日本の日常生活を体験することを目的に来日しますので、特別な食事、待遇はせず、家族の一員として接していただければ結構です。

ご参考までに、昨年度までにホストファミリーを経験されたご家庭の声を紹介致します。(過去10年度のホストファミリーの手記は、本校 WEB SITEにも掲載しております。是非ご覧ください。)

■精力的に見、食べ、動いていて、将来「ジャーナリストになりたい」という夢は実現するのではないか、と思いました。あいさつもちゃんとする、しっかりしたお嬢さんです。彼女の話聞いていて、私たち家族も美しいシアトルを訪れてみたいと思います。

■思った以上に、我が家ではリラックスしていた様に思えた。15才で日本を訪れることは、何かと不安であったであろうが、日本に興味をもち、日本語の勉強をし、再び訪れてくれることを願っています。

■1日目、前のホストファミリーの方にお風呂の入り方などを教わっているようなので特に困ったことはありませんでしたが、到着から就寝まで慌ただしく過ごしてしまいました。彼は物静かな青年という印象でした。3日目、北野高校のお友達5人が遊びに来てくれて、いっしょにカレーを食べて、花火、ゲーム等を楽しみました。ずいぶん打ち解けて笑顔がたくさん見られました。

■来る前は、わくわく、そわそわ、どきどき、1週間は、ばたばた、うきうき、はらはら、帰国してからも、時折思い出しては、しみじみ、ほのぼの、と、まさに1度来て3度味わえたのでした。本当に今思い出すと、宝石箱を開いたような、光り耀く1週間でした。このような機会を下さったみなさんに心から感謝の気持ちでいっぱいです！！ありがとう！！

■私たちにとって、みんなで協力して彼のために使った時間は、とても貴重でした。普段の生活では得難いものをたくさんもらった気がします。むしろ私たちの方から『ありがとう』を言いたいと思います。

■たった一週間にも満たないような彼女の滞在でしたが、それは私たち家族に少なからず良い振動を与えてくれたように思います。この感動を大事にしてもう一度、私たちの周りを見渡すことから始めてみたいと思っています。

申し込みについて

ホストを希望する生徒は、1階教員室・佐川・松山、指導室・稲岡、2階教員室若宮(いずれも英語科)まで申込書を取りに来て下さい。
申込書の提出期限は、6月6日(金)午後4時です。

申し込みに関する質問などは遠慮なく上記4名までお問い合わせ下さい。また、ホストファミリーをお引き受けいただくことが決まりましたご家庭には、受け入れに関する説明会を行いますので、その際保護者の方は是非ともご参加下さい。説明会の日時等詳細につきましては、追ってお知らせいたします。なお、「ホスト生」が必ずしも「ケント派遣生」になるものではないことをご承知おき下さい。